

持続可能な地域構造フォーラム

～集落⇄都市の新たな繋がりを考える～



入場無料
先着**200名**
(事前参加申込)

日時 2018年**10月16日**火 14:00~17:10
[10月17日(水)に現地取組事例の見学会を開催]

会場 **岡山県真庭市**
勝山文化センター

交通、物流、エネルギー、情報といった生活や産業の営みは、集落圏、市町村圏、広域都市圏などの階層が重層的な圏域ネットワークを構築し有機的に連携することによって成り立っています。中山間地域(集落)をはじめ、各地域において今後の人口の減少が見込まれる中、持続可能な地域構造を構築するためには、小さな拠点、道の駅などを核とする中山間地域(集落)圏内の循環に加え、交通、物流などのより広域のネットワークによる、中山間地域(集落)と地方都市、拠点都市との循環を形成することが重要です。本フォーラムでは、持続可能な地域構造を未来に向けて展望し、都市と中山間地域(集落)をつなぐ重層的なネットワークの在り方を、地域拠点や交通、物流の観点から、ともに考えます。

プログラム

10月16日(火) 持続可能な地域構造フォーラム

- [13:30] 受付開始
- [14:00] 開会
- [14:10] 基調講演「集落と都市をつなぐ～重層的な循環圏構想に向けて」
藤山 浩((一社)持続可能な地域社会総合研究所 所長)
- [14:55] 取組事例紹介
真庭市「大きな里山資本主義による循環型の「回る経済」と小さな拠点の構築」(今石 健司)
山口市「市民・事業者・行政の協働により育て支える公共交通」(田邊 幸治)
(特非)ほほえみの郷トイ「地福の地域課題解決～買物、交通、見守り、所得向上～」(高田 新一郎)
高知県「県全体をカバーする集落の維持・再生の仕組み(集落活動センター)」(中村 剛)
梶原町「集落活動を支える 小さな拠点づくり」(西村 新一)
ヤマト運輸㈱「集落⇄都市物流ネットワークについて」(関根 豊)
- [16:05] パネルディスカッション「集落⇄都市の新たな繋がりを考える」
コーディネーター: 藤山 浩

パネリスト

太田 昇	(岡山県 真庭市長)
田邊 幸治	(山口県 山口市 都市整備部 交通政策課 主幹)
高田 新一郎	((特非)ほほえみの郷トイ 副理事長兼事務局長)
吉田 尚人	(高知県 梶原町長)
中村 剛	(高知県 中山間振興・交通部 副部長)
関根 豊	(ヤマト運輸㈱ 社長室 課長)

[~20:00] 交流会

フォーラム終了後に同会場にて、真庭市の主催による交流会が開催されます。対象はフォーラム参加者のうち希望される方、会費は4,000円となります。また、交流会終了後には、同会場と真庭シティホテルサンライズ及び真庭リバーサイドホテルを結ぶバスが運行されます。

10月17日(水) 現地取組事例の見学会

森林資源に代表される豊かな地域資源を活かした資源循環・経済循環の形成や、地域の生活や文化に根ざした「真庭ライフスタイル」(多彩な真庭の豊かな生活)の実現を目指す真庭市の取組をご覧ください。

- 対象者:フォーラム参加者のうち希望される方(定員80名)
- 参加費:無料
※昼食代(1,000円)は各自でご負担いただきます。
- 時間:9:00~15:30
- 移動方法:見学会用バスを用意いたします。
※真庭市役所付近、真庭シティホテルサンライズ及び真庭リバーサイドホテルから乗降可。駐車場等の詳細については、フォーラム当日に改めてご案内いたします。
※見学会終了後、バスは岡山空港及び岡山駅まで運行予定です。ご希望の場合はご利用ください。

- 主な見学先:
 - ・真庭バイオマス発電所
森林に放置されていた間伐材などを主な燃料とした国内最大級の木質バイオマス発電所
 - ・CLT工場
国内初のCLT(直交集成板)専用工場
 - ・中和地区の小さな拠点
小さな拠点づくりや薪流通等の取組の舞台
 - ・道の駅「風の家」直売所
市内7つの直売所と大阪府高槻市の「真庭市場」を結ぶアグリネットワーク

※見学会の見学先やスケジュール等は現在調整中ですので、今後内容が変更になる可能性があります。ご了承ください。

持続可能な地域構造フォーラム ～集落⇄都市の新たな繋がりを考える～

プロフィール



藤山 浩
 (一社)持続可能な地域社会総合研究所 所長
 株式会社中国・地域づくりセンター、島根県中山間地域研究センター等を経て、2017年より現職。国土交通省国土政策局「住み続けられる国土専門委員会」他、多数の国・県の委員等を務める。著書に「田園回帰1%戦略」、「循環型経済をつくる」(農文協)等。島根県益田市出身、一橋大学経済学部卒業。



吉田 尚人
 高知県 梶原町長
 1983年4月梶原町役場入庁。2001年に退職後、四万川郵便局長を務める。2009年、梶原町副町長に就任、2017年12月より梶原町長。明治大学法学部卒業、梶原町出身。



中村 剛
 高知県 中山間振興・交通部 副部長
 1986年4月高知県庁入庁。産業振興推進部計画推進課長、中山間地域対策課長等を経て、2016年4月より現職。



太田 昇
 岡山県真庭市長
 1975年4月京都府入庁。財政課長、知事室長、総務部長等を経て、2010年から副知事を務めた後、2013年4月に真庭市長へ就任、現在に至る。同市の持続的発展のため、豊かな木質資源を活用したバイオマス発電やCLTの普及等、戦略的取組に挑戦している。真庭市(旧真庭郡久世町)出身、京都大学法学部卒業。



西村 新一
 高知県 梶原町 企画財政課長
 1987年4月梶原町役場入庁。保健福祉支援センター長を経て、2012年4月より現職。梶原町出身。



関根 豊
 ヤマト運輸株式会社 社長室 課長
 1996年4月ヤマト運輸株式会社入社。事務改革部課長、徳島主管支店長、品質向上推進課長等を経て、2017年4月より現職。埼玉県出身。



田邊 幸治
 山口市 都市整備部 交通政策課 主幹
 1997年4月山口市役所入庁。総務部、健康福祉部、教育委員会事務局等を経て、2015年4月より現職。地域主体のコミュニティタクシーの運行支援や、第二次山口市市民交通計画の策定に携わる。九州大学卒業。



高田 新一郎
 (特非)ほほえみの郷トイイ 副理事長兼事務局長
 2010年2月、地福ほほえみの郷運営協議会事務局長として、唯一のスーパーが撤退した地福地域における交流拠点を核とした将来構想「地福ほほえみの郷構想」を提案、地域拠点型スーパーほほえみの郷トイイ開設に関わる。現在は持続可能な地域運営に向け地域を元気にするソーシャルビジネスの構築に取り組んでいる。

会場アクセス

勝山文化センター

岡山県真庭市勝山319

TEL:0867-44-2011

- JR姫新線「中国勝山駅」から徒歩約5分
- 中国道落合ICから約12km(車で約20分)
- 米子道久世ICから約10km(車で約15分)

■ 駐車場: 約350台



お申込み方法

参加ご希望の方は、FAXかE-mailにてお申込みください。FAXにてお申込みの方は、下記「参加申込書(FAX送信用)」をご利用ください。E-mailにてお申込みの方は、下記「参加申込書」の太枠内にある項目を漏れなくご記載ください。

E-mailでのお申込み forum20181016@ech.co.jp

FAXでのお申込み FAX:03-5807-3019

申込締切 **10月10日(水)** ※定員を超過した場合、お断りの連絡をいたしますので、あらかじめご了承ください。

参加申込書(FAX送信用) ※複数人で参加を希望される場合は、お名前を全て(1行につき1人)ご記入ください。4名以上の場合は複数枚ご利用ください。
 ※お預かりした情報は、当フォーラム等の運営にのみ使用します。

参加者氏名		所属・役職	10月16日(火) 交流会の参加希望 ※いずれかに○をつけてください。	10月17日(水) 見学会の参加希望 ※いずれかに○をつけてください。
記入例	ふりがな しゅうらく たろう 集落 太郎	●●県●●市●●課 課長 (特非)●●主任 等	参加する ○ 参加しない	参加する ○ 参加しない
代表者	ふりがな		参加する ○ 参加しない	参加する ○ 参加しない
2	ふりがな		参加する ○ 参加しない	参加する ○ 参加しない
3	ふりがな		参加する ○ 参加しない	参加する ○ 参加しない
代表者連絡先	住所	電話番号	E-mail 又は Fax	
来場手段	① 自家用車()台・()名 ② 公共交通機関()名 ③ その他()名			

《お問合せ先》「持続可能な地域構造フォーラム事務局」(株)イベント&コンベンションハウス内

TEL 03-3831-2601

FAX 03-5807-3019

E-mail forum20181016@ech.co.jp